

令和6年度全国学力・学習状況調査（中学3年生）の結果をお知らせします

唐津市教育委員会

令和6年4月18日（木）に、全国学力・学習状況調査が実施されました。

このたび、唐津市全体の結果・分析・改善策をまとめましたので、お知らせします。

この調査の目的は、生徒の学習状況、課題等を把握するとともに、結果を踏まえて生徒への学習指導の改善・充実に役立てるために実施されています。



1. 令和6年度 4月調査 全国、県との比較

中学 3年生	正答率			全国 との差	県 との差
	全国	佐賀県	唐津市		
国語	58.1	55.0	50.0	-8.1	-5.0
数学	52.5	48.0	42.0	-10.5	-6.0

【正答率から分かること】

正答率で比較すると全ての調査問題において、全国及び県を下回ったが、数学については、R5の中3よりも改善が見られた。

2. 令和5年度 佐賀県学力・学習状況調査と4月調査の経年比較

今年度の中学3年生は、昨年度の4月に佐賀県学力・学習状況調査を受けています。その調査と今年度の調査を基に、同一生徒の経年比較を行いました。その結果については、次のとおりです。

【国語】

	令和5年度（4月調査） 正答率	令和6年度正答率
唐津市	54.5	50.0
県（対県比）	59.4(0.92)	55.0(0.91)

【正答率から分かること】

令和5年度4月県調査、令和6年全国調査ともに県正答率を下回った。

経年比較で対県比を見てみると、数学は横ばい、国語においては、令和5年度4月調査から若干下回る結果となった。

【数学】

	令和5年度（4月調査） 正答率	令和6年度正答率
唐津市	44.1	42.0
県（対県比）	50.1(0.88)	48.0(0.88)

3. 中学校 生徒意識調査の結果表

(○…上回っている、―…ほぼ同等である、▼…下回っている)

※1ポイント以上の開きがあるかどうかを基準としています。

※「当てはまる」「どちらかといえば当てはまる」の割合の合計との比較(%)

主な質問事項	全国との比較	県との比較
国語の勉強は好きですか (65.5%)	○	○
数学の勉強は好きですか (60.2%)	○	○
理科の勉強は好きですか (63.7%)	▼	▼
1、2年生のときに受けた授業では、課題の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組んでいましたか (79.3%)	―	▼
1、2年生のときに受けた授業では、各教科などで学んだことを生かしながら、自分の考えをまとめる活動を行っていましたか (75.0%)	―	―
1、2年生のときに受けた授業は、自分にあった教え方、教材、学習時間などになっていましたか (79.5%)	▼	▼
学級の生徒との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、新たな考え方に気付いたりすることができていますか (80.9%)	▼	▼
学習した内容について、分かった点や、よく分からなかった点を見直し、次の学習につなげることができていますか (77.9%)	―	▼
授業で学んだことを、次の学習や実生活に結びつけて考えたり、生かしたりすることができると感じますか (80.4%)	○	―
学校の授業時間以外に、普段(月曜日から金曜日)、1日当たりどれくらいの時間、勉強をしますか(学習塾で勉強している時間や家庭教師の先生に教わっている時間、インターネットを活用して学ぶ時間も含む) ※1時間以上と回答した割合 (46.6%)	▼	▼
自分にはよいところがあると思いますか (81.9%)	▼	―
将来の夢や目標を持っていますか (65.2%)	▼	▼
いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思いますか (97.8%)	○	―
人の役に立つ人間になりたいと思いますか (96.0%)	―	―
地域や社会をよくするために何かしてみたいと思いますか (80.1%)	○	―
先生は、あなたのよいところを認めてくれていると思いますか (89.0%)	▼	―
朝食を毎日食べていますか (89.3%)	▼	▼

4. 正答率が高い生徒に多く見られる傾向

- 朝食を毎日食べている。
- 人の役に立つ人間になりたいと感じている。
- 自分と違う意見について考えるのは楽しいと思っている。
- 分からないことや詳しく知りたいことがあったときに、自分で学び方を考えて、工夫することができていると感じている。
- 1、2年生のときに受けた授業では、課題の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組んでいたと感じている。
- 1、2年生のときに受けた授業では、各教科などで学んだことを生かしながら、自分の考えをまとめる活動を行っていたと感じている。
- 1、2年生の時に受けた授業は、自分に合った考え方、教材、学習時間などになっていたと感じている。
- 授業で学んだことを、次の学習や実生活に結び付けて考えたり、生かしたりすることができると感じている。

5. 調査結果から考えられる成果や課題と改善策

- 各教科、県や全国の正答率を下回っており、課題が見られますが、「授業で学んだことを、次の学習や実生活に結びつけて考えたり、生かしたりすることができると思いますか」という質問では、全国を上回っています。唐津市で取り組んでいる「子どもが主役となる授業」を意識した授業づくりの成果が出ていると考えます。生徒が、学びを実感できるよう、より一層の授業改善に取り組んでいきます。
- 唐津市学力向上指定校の公開授業において、先生方の優れた取組を紹介し、授業改善の具体について学ぶ研究会を開催します。
- 英語力向上を目指し、小学校と中学校が連携した外国語教育指導力向上研修会を実施します。また、研修会を通して好事例を共有することで、言語活動を50%以上取り入れた授業に改善していくよう努めます。
- 「地域や社会をよくするために何かしてみたいと思いますか」で肯定的な回答をした生徒の割合が全国よりも高い結果となりましたが、「将来の夢や目標を持っていますか」という質問で肯定的な回答をした生徒は全国及び県を下回りました。各学校の特色や地域活力を生かした学習活動を展開したり、キャリア教育を推進したりしていくことで、更に郷土唐津を大切にする気持ちを育み、自分の役割の価値を見いだすことができるようにしていきます。
- 家庭学習について、「学校の授業時間以外に、普段、1日当たりどれくらいの時間、勉強をしていますか」という質問で「1時間以上」と回答した生徒は、全国及び県を大きく下回っています。学校と家庭の連携を深め、家庭学習の質と量の両面で改善が図られるようにしていきます。

6. 子どもの学力向上のために家庭で協力いただきたいこと

- ・ 早寝、早起き、朝ごはん等、規則正しい生活ができるようにする。
- ・ 携帯、スマートフォンについては、使い方について、家庭で約束を決める。
- ・ 宿題や勉強をするときのノーテレビ・ノーメディアを行う等、子どもの学びを支える。
- ・ 小さな頑張りを『ほめる』ことを通して、自分に自信がもてるようにする。
- ・ 子どもの話をじっくり聞きながら対話する。

この調査結果は、学力の特定の一部であること、学校における教育活動の一側面であることを踏まえ、唐津市全体の正答率は公表しますが、調査の目的や学校規模等を配慮し、個別の学校の正答率等の数値による結果を公表しないこととしています。

「学校」「家庭」「地域」が一体となって子どもたちを育んでいきましょう！

